

看護教育委員会 委員ペーパー

NO. 11

お疲れ様でございます。
すっかり冬です！年の瀬です(#^.^#)



相変わらず、当院は忙しい!! 患者様やご家族が、当院での治療を希望されている…。
地域の方々の期待に、専門職として応えられるようになりたいですね(^)
月日が流れるのは早いものです。提出は、以下のような期日をお願いします。

12月分 評価表の回収

- ◆新人看護師評価 A・C
- ◆コメント
- ◆12月以降の指導ポイント

ラダー I の内容に沿ったコメントと指導内容を

1 / 10

課題の提出締切日 H26/12/24 来年度年間計画及び C 評価項目

ケーススタディも佳境に入ってまいりました。それぞれのラダーに沿ったテーマで論文を書いて頂くこととなりますが、臨床で働きながらケースをとるということは特別な事ではありません。患者様の入院から退院（3年目は退院後も含め）までを受持ち、看護展開し実践、評価する。これらのことは、看護専門職として通常行われることです。3年間行うケーススタディは、振り返って論文を書くことで次の看護に活かし、看護展開のスキルを向上することを目的としています。対象者だけでなくケースに関わる部署全体で、看護の本質について考える機会でもあります。個人も部署も、ケースをとった分だけ“成長すること間違いなし”という考えのもと委員会でも取り組んでいます。何卒、よろしくお願いします!!

☆ケースの視点☆



当院に入院される患者様は、急性期治療が必要で来院されます。問題は多々ある事でしょう。数ある問題点の、何に焦点をあてて、どんな目標設定をして、どんな問題解決の過程（計画・実践・評価）を経て、結果どうなったのか。患者様やご家族は、その結果に満足されたのか。そこが視たいのです。知りたいのです。

「事前提出用紙」の3枚目

- VI：あなたの看護実践で、患者にとって良い影響（自立につながる）を与えた事は何か
 - VII：自身の看護実践を振り返り、何があればもっと良い関わりが出来たのか
- その振り返りが重要なのです。



何卒何卒、よろしくお願い致します。。。龍崎。

平成26年12月